

副議長

榎藤 龜雄

3、書記任命

阿部 藤五郎
羽 永正人 外三名

4、祝辭

立石 利夫

龜井淺原は政黨の役者であつて吾々無産階級の利益にはならぬ、吾々大衆は互に手を握り合つて日常生活に必要な權利を地主資家より奪ひ取らねばならぬ。

福 泉 忠 男

現在の日本は資本家地主が權力を振ふ政治である、吾々労働者と農民とが握手して一團となつて立ち上つた時資本家地主を倒すことが出来る。

5、議事

一、小作米をマケロ土地引上反對の件 榎藤 龜雄 説明

農村の窮乏打開は小作米の減額要求の外ない、且つ吾々現在の耕地作田地は吾々の祖先よりの努力で今日の美田となつたので小作人に贈呈すべきだ況んや之れが引上には絶對反對だ。

二、税金値下の件 靜岡榮作 説明

食ふことの出来ぬ吾々の窮狀では税金の減額を大衆動員に依つて要求せよ。 可決

三、入營者の家族生活補償の件 靜岡榮作 説明

農民労働階級より入營すれば其の家族に對しては小作米税金電燈料等を免除し疾病の治療は無料として其の窮狀を救済する様當局に要求すること 可決

四、産米検査反對の件 榎藤 龜雄 説明

産米検査は地主が小作人を搾取する手段である其の費用を以つて小作人の負擔を軽減せよ 可決